

令和 5 年度 放課後等デイサービス（集団）自己評価表

事業所名：放課後等デイサービス事業所四日市市立あけぼの学園

		チェック項目	はい	どちらともい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修などに積極的に参加している。また、研修で学んだことを支援会議で報告し、職員間で共有できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況、特性等について評価、分析し、話し合っって計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月支援会議を行い次月の活動内容について曜日別に検討している。また、その日の子どもの状況に合わせて変化を持たせている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			安定して過ごせるよう、1日の流れには大きな変化をつけず、季節の行事を取り入れるなどして活動内容を変化させている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○		長期休暇などにおいても施設利用の理由などから時間の延長などはしていない。学校のない日には、体を動かす課題などを意識して取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			発達段階に合わせて、集団の大きさをかえたり、集団に入る時間や内容を調整したりしている。個別活動については、発達段階に合わせたものを用意している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回、事前に打ち合わせを行っているが、特に3人以上の職員で保育にあたる時は、支援の内容や役割分担について丁寧に確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			1日の子どもの状況を確認し合い、うまくいった点、いかなかった点について話し合っている。次回、配慮する点、支援ポイントについても話し合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の書き方については、日々あったことを書き留めるだけでなく、子ども同士のやりとり、支援者の支援方法など子どもの状況を把握し、次の支援につながるような記録をとるようにしている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に 1 回はモニタリングを行い、個別支援計画の作成を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		にじ学園、きらら学園とは、学校との情報共有を行い、子どもの迎え時に今日の様子についてなど、情報交換を行っている。その他の学校との情報共有は必要などきのみに行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		利用があった場合には医療との連携を行う。てんかん発作のある利用児の保護者と情報を共有し、非常時に備えている。
機	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			当事業所は児童発達支援センターであるため、当事業所の利用者はセンター内の児童発達支援の利用者であることが多く、また個別訓練の利用児でもあるため、保護者に許可を得て連携をとっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○		
者	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		児童館などの交流はないが、地域の公園で遊んだりして、障害のない子どもと遊ぶ機会を設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者に送迎をしてもらっているため、子どもの状況について日々話し合っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	○			送迎時や個別支援計画渡しの時などで、子どもへの対応について保護者とともに考えたり、保護者のできる支援を伝えたりしている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の時に説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会などはないが、保護者から困りごとなどの相談を受けた時は送迎時に職員が仲立ちとなって、保護者同士が話せるよう支援をしている。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今のところ地域住民を招待するような行事は行っていない。買い物体験などで地域のお店に行き、地域の人と交流する機会をつくっている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を立ち上げ、職員間で連携を取り、虐待防止に努めている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等の適正化のための指針を作成・掲示して、周知に努めている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故などが起きた時には、情報を職員で共有し、今後の対応について検討している。